

中小企業景況調査報告書

2022年 4～6月期実績

2022年 7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2022年4～6月期の実績及び2022年7～9月期見通し

②調査期間：2022年5月23日～6月2日 ※調査時点は2022年6月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	50	49	98.0%	小売業	86	83	96.5%
建設業	49	48	98.0%	サービス業	115	111	96.5%
				合計	300	291	97.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前期比					
	今期	来期見込	R3. 1-3	R3. 4-6	R3. 7-9	R3. 10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 47.0	▲ 20.9	▲ 27.6	▲ 12.8	▲ 18.8	▲ 31.1	▲ 17.8	▲ 23.4
建設業	▲ 20.8	▲ 28.3	▲ 18.6	0.0	▲ 7.0	7.2	▲ 4.1	▲ 19.2
小売業	▲ 43.4	▲ 42.2	▲ 47.5	▲ 30.5	▲ 28.0	▲ 28.8	▲ 32.0	▲ 35.1
サービス業	▲ 25.5	▲ 20.0	▲ 62.0	▲ 42.4	▲ 36.7	▲ 23.3	▲ 16.5	▲ 13.1

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今 期	来 期 見 込	R3. 7-9	R3. 10-12	R4. 1-3	今 期	来 期 見 込
業 況	好転した	6.1	7.0	10.4	6.7	0.0	11.1	10.6
	不 変	40.8	65.1	60.4	55.5	60.5	60.0	55.4
	悪化した	53.1	27.9	29.2	37.8	39.5	28.9	34.0
	D・I	▲ 47.0	▲ 20.9	▲ 18.8	▲ 31.1	▲ 39.5	▲ 17.8	▲ 23.4
売上(加工)額	増加した	22.4	17.0	33.3	10.9	11.4	32.7	
	不 変	38.8	44.7	33.4	43.4	34.1	40.8	
	減少した	38.8	38.3	33.3	45.7	54.5	26.5	
	D・I	▲ 16.4	▲ 21.3	0.0	▲ 34.8	▲ 43.1	6.2	
資金繰り	好転した	4.2	0.0	6.4	0.0	2.3	4.2	
	不 変	64.5	72.3	78.7	82.6	70.4	66.6	
	悪化した	31.3	27.7	14.9	17.4	27.3	29.2	
	D・I	▲ 27.1	▲ 27.7	▲ 8.5	▲ 17.4	▲ 25.0	▲ 25.0	
原材料仕入単価	上昇した	72.9	72.9					
	不 変	27.1	27.1					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	72.9	72.9					
採算(経常利益)	好転した	6.3	8.3					
	不 変	37.4	47.9					
	悪化した	56.3	43.8					
	D・I	▲ 50.0	▲ 35.5					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

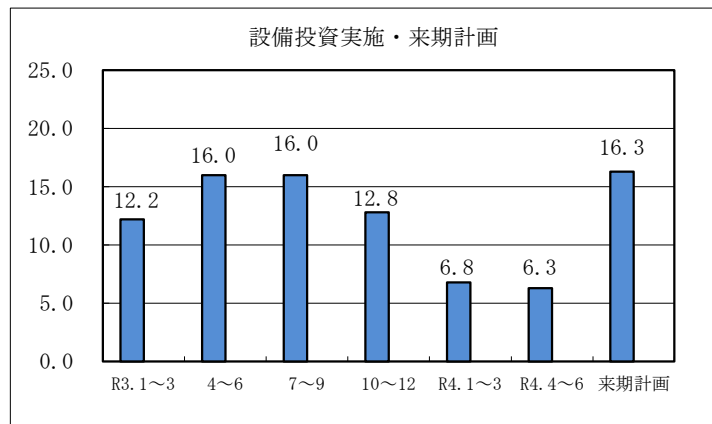
回答48事業所の内、3事業所(6.3%)が実施。

●その他=2事業所、●生産設備、付帯施設=各1事業所

【来期計画内容】

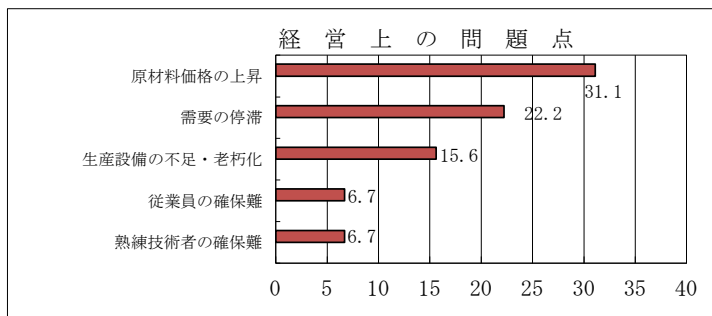
回答49事業所の内、来期に8事業所(16.3%)が計画。

●工場建物、生産設備=各3事業所、●その他=2事業所、●OA機器=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より3.6ポイント増加している。2位は前回同様の「需要の停滞」で2.2ポイント増加している。3位は前回同様の「生産設備の不足・老朽化」で3.1ポイント減少している。4位は前回同様の「従業員の確保難」で0.8ポイント減少した。5位は前回番外の「熟練技術者の確保難」で0.1ポイント増加した。また、前回4位の「製品ニーズの変化」前回5位の「製品ニーズの変化」はそれぞれ7.3ポイント、4.8ポイント減少し番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R3. 7-9	R3. 10-12	R4. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	6.3	4.3	9.3	16.7	14.0	16.7	8.5
	不 変	66.6	63.1	74.4	73.8	48.8	62.5	63.8
	悪化した	27.1	32.6	16.3	9.5	37.2	20.8	27.7
	D・I	▲ 20.8	▲ 28.3	▲ 7.0	7.2	▲ 23.2	▲ 4.1	▲ 19.2
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	18.8	4.2	38.1	25.6	14.3	22.2	
	不 変	39.5	58.3	42.9	46.5	28.6	44.5	
	減少した	41.7	37.5	19.0	27.9	57.1	33.3	
	D・I	▲ 22.9	▲ 33.3	19.1	▲ 2.3	▲ 42.8	▲ 11.1	
資金繰り	好転した	4.2	4.2	7.3	9.5	7.3	2.2	
	不 変	72.9	75.0	87.8	83.4	70.7	84.5	
	悪化した	22.9	20.8	4.9	7.1	22.0	13.3	
	D・I	▲ 18.7	▲ 16.6	2.4	2.4	▲ 14.7	▲ 11.1	
材 料 仕入単価	上昇した	82.6	66.0					
	不 変	17.4	34.0					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	82.6	66.0					
採算(経常 利益)	好転した	10.4	2.1					
	不 変	52.1	60.4					
	悪化した	37.5	37.5					
	D・I	▲ 27.1	▲ 35.4					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

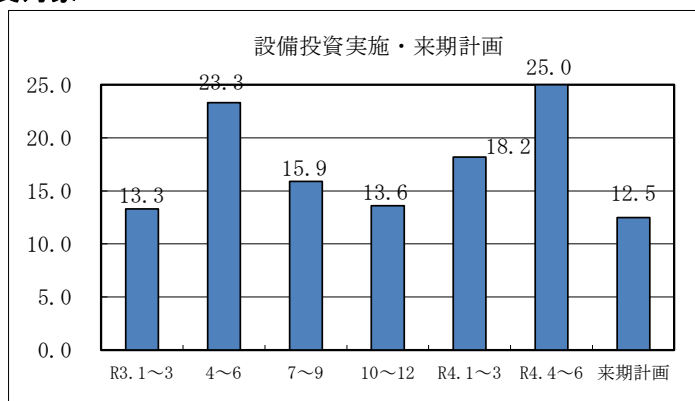
回答48事業所の内、12事業所(25.0%)が実施。

●車両・運搬具=7事業所、●建設機械=3事業所、●土地、建物、OA機器=各2事業所

【来期計画内容】

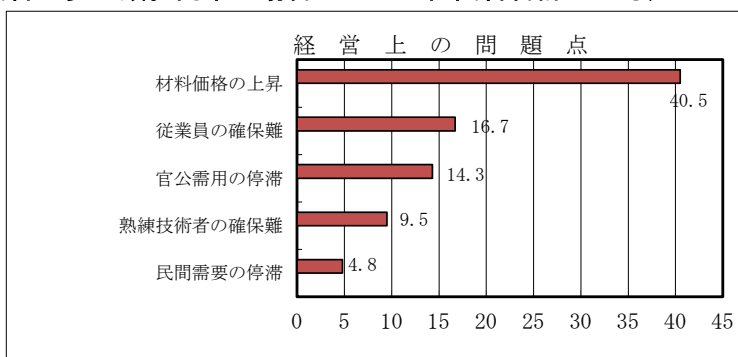
回答48事業所の内、来期は6事業所(12.5%)が計画。

●建設機械=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●福利厚生施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で前回より0.5ポイント増加している。2位は前回同様の「従業員の確保難」で0.4ポイント減少した。3位は前回同様の「官公需用の停滞」でポイント増減なし。4位は前回同様の「熟練技術者の確保難」で、0.9ポイント増加した。5位は前回同様の「民間需要の停滞」で0.9ポイント減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R3. 7-9	R3. 10-12	R4. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	7.2	4.8	8.0	8.2	1.6	6.7	6.8
	不 変	42.2	48.2	56.0	54.8	46.8	54.6	51.3
	悪化した	50.6	47.0	36.0	37.0	51.6	38.7	41.9
	D・I	▲ 43.4	▲ 42.2	▲ 28.0	▲ 28.8	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 35.1
売上額	増加した	20.5	11.0	28.9	22.2	12.8	20.0	
	不 変	33.7	45.1	33.8	44.5	39.8	40.0	
	減少した	45.8	43.9	37.3	33.3	47.4	40.0	
	D・I	▲ 25.3	▲ 32.9	▲ 8.4	▲ 11.1	▲ 34.6	▲ 20.0	
資金繰り	好転した	4.9	4.9	3.6	4.9	2.6	5.0	
	不 変	61.0	64.6	77.1	72.9	67.9	66.2	
	悪化した	34.1	30.5	19.3	22.2	29.5	28.8	
	D・I	▲ 29.2	▲ 25.6	▲ 15.7	▲ 17.3	▲ 26.9	▲ 23.8	
商品仕入単価	上昇した	49.4	45.8					
	不 変	43.4	45.8					
	低下した	7.2	8.4					
	D・I	42.2	37.4					
採算(経常利益)	好転した	2.4	3.6					
	不 変	43.4	50.6					
	悪化した	54.2	45.8					
	D・I	▲ 51.8	▲ 42.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

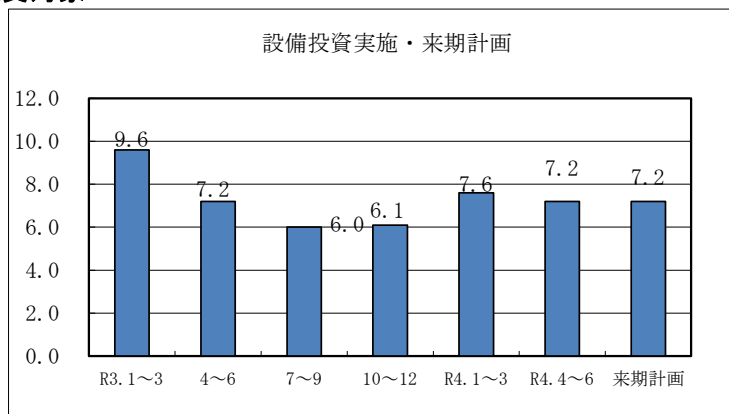
回答83事業所の内6事業所(7.2%)が実施。

●販売設備=3事業所、●店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

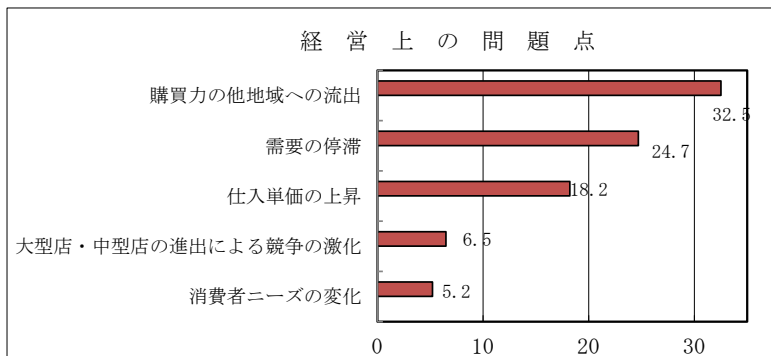
回答83事業所の内、来期は6事業所(7.2%)が計画。

●車両・運搬具、OA機器=各3事業所、●販売設備=2事業所、●福利厚生施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「購買力の他地域への流出」で、前回から2.1ポイント増加した。2位は前回同様の「需要の停滞」で3.0ポイント減少した。3位は前回5位の「仕入単価の上昇」で9.5ポイント増加した。4位は前回3位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」で5.1ポイント減少している。5位は前回4位の「消費者ニーズの変化」で3.5ポイントの増加となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R3. 7-9	R3. 10-12	R4. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	12.7	10.9	5.9	13.1	4.4	11.7	12.1
	不 変	49.1	58.2	51.5	50.5	39.6	60.1	62.7
	悪化した	38.2	30.9	42.6	36.4	56.0	28.2	25.2
	D・I	▲ 25.5	▲ 20.0	▲ 36.7	▲ 23.3	▲ 51.6	▲ 16.5	▲ 13.1
売上(収入)額	増加した	26.1	21.6	15.7	20.6	8.0	25.7	
	不 変	34.3	49.6	49.1	38.3	27.0	45.9	
	減少した	39.6	28.8	35.2	41.1	65.0	28.4	
	D・I	▲ 13.5	▲ 7.2	▲ 19.5	▲ 20.5	▲ 57.0	▲ 2.7	
資金繰り	好転した	6.4	8.2	1.0	5.7	2.0	6.5	
	不 変	67.2	67.3	71.1	65.7	55.6	71.1	
	悪化した	26.4	24.5	27.9	28.6	42.4	22.4	
	D・I	▲ 20.0	▲ 16.3	▲ 26.9	▲ 22.9	▲ 40.4	▲ 15.9	
仕入単価(材料等)	上昇した	55.0	51.4					
	不 変	43.2	46.7					
	低下した	1.8	1.9					
	D・I	53.2	49.5					
採算(経常利益)	好転した	9.9	7.3					
	不 変	48.7	58.8					
	悪化した	41.4	33.9					
	D・I	▲ 31.5	▲ 26.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

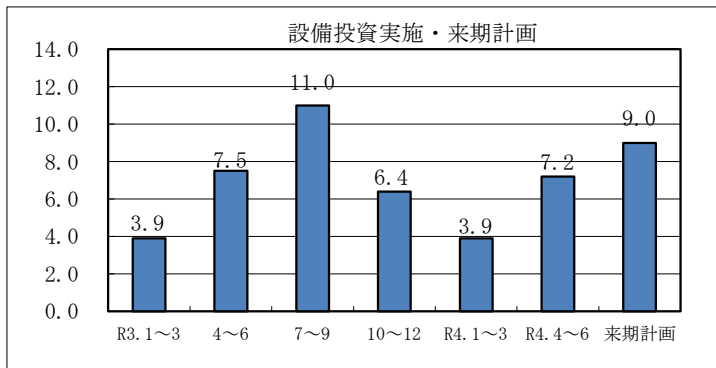
回答111事業所の内、8事業所(7.2%)が実施。

●サービス=4事業所、●建物、車両・運搬具、OA機器、その他=各2事業所、●付帯施設=1事業所

【来期計画内容】

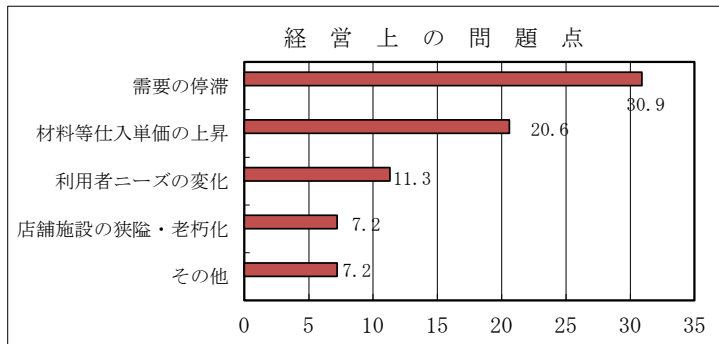
回答111事業所の内、10事業所(9.0%)が計画。

●サービス=5事業所、●OA機器=4事業所、●付帯施設=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●土地、建物、その他=各1



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回と同じく「需要の停滞」であり前回より3.8ポイント減少した。2位は前回3位の「材料等仕入単価の上昇」で10.1ポイント増加した。3位は前回2位の「利用者ニーズの変化」で0.3ポイント減少した。4位は前回5位の「店舗施設の狭隘・老朽化」で1.2ポイント減少した。5位は前回4位の「その他」であり、前回より2.3ポイント減少となった。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

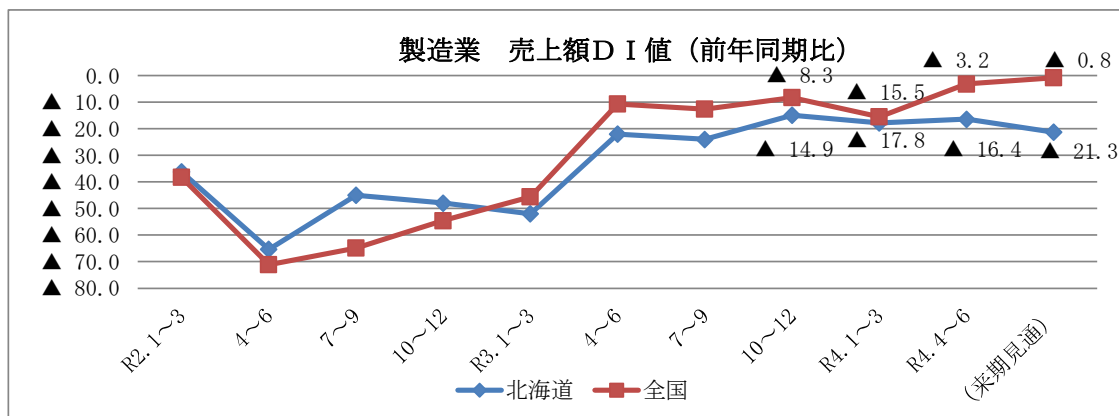
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

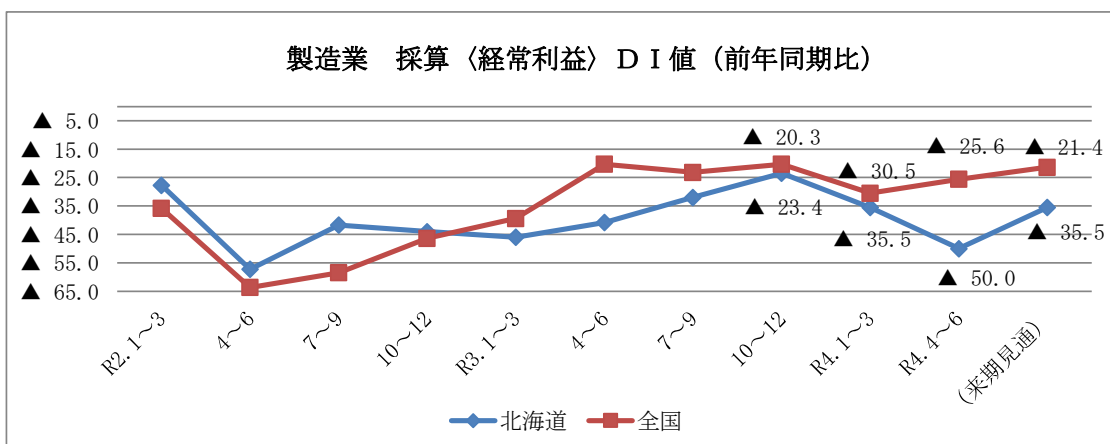
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

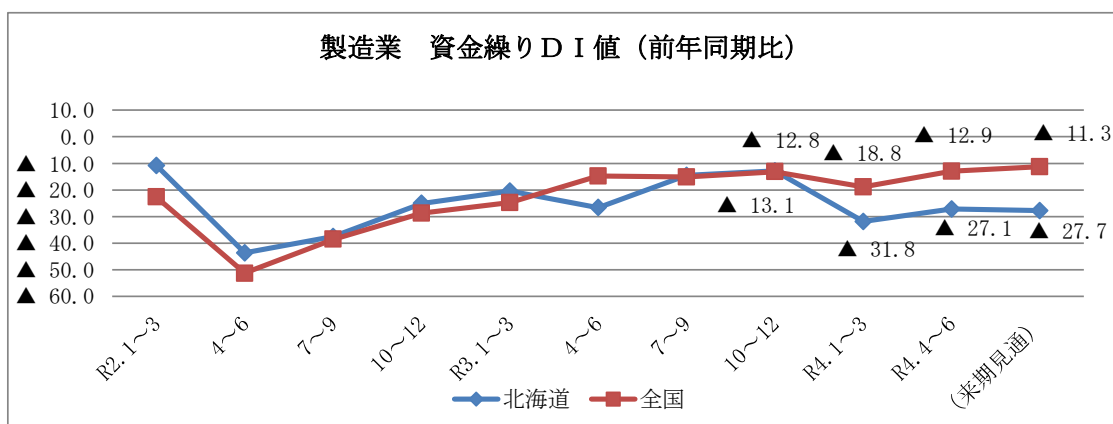
売上額



採算



資金繰り

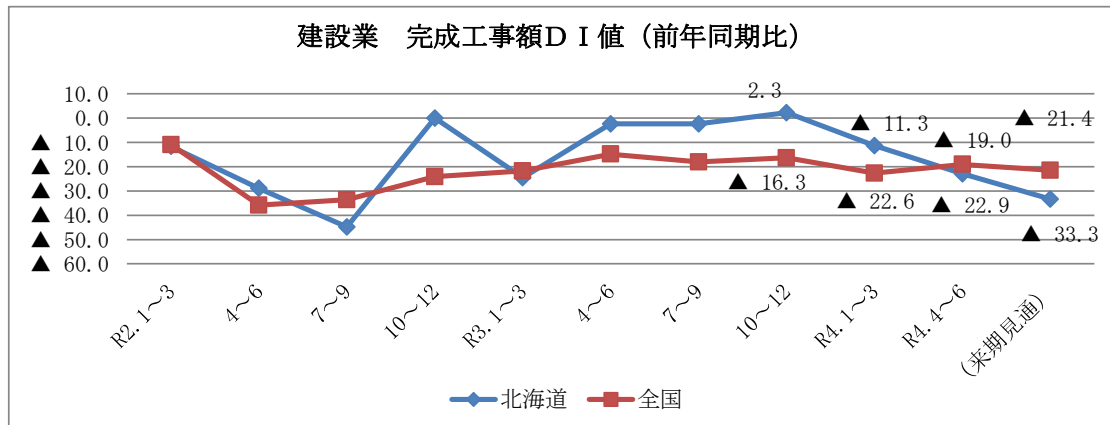


建設業

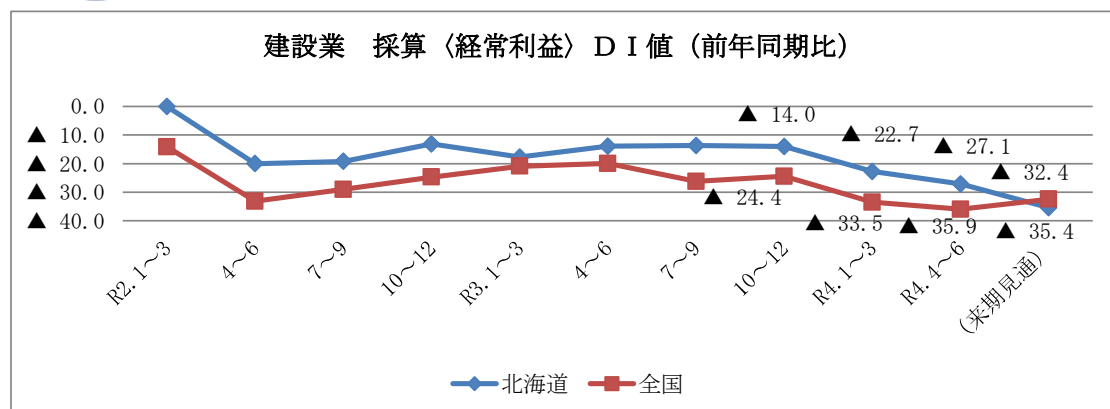
【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

【全国】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

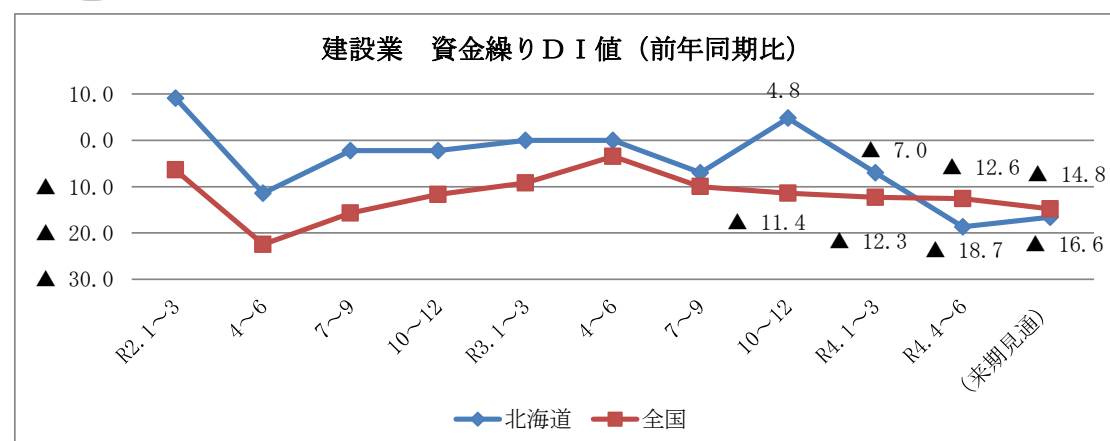
完成工事額



採算



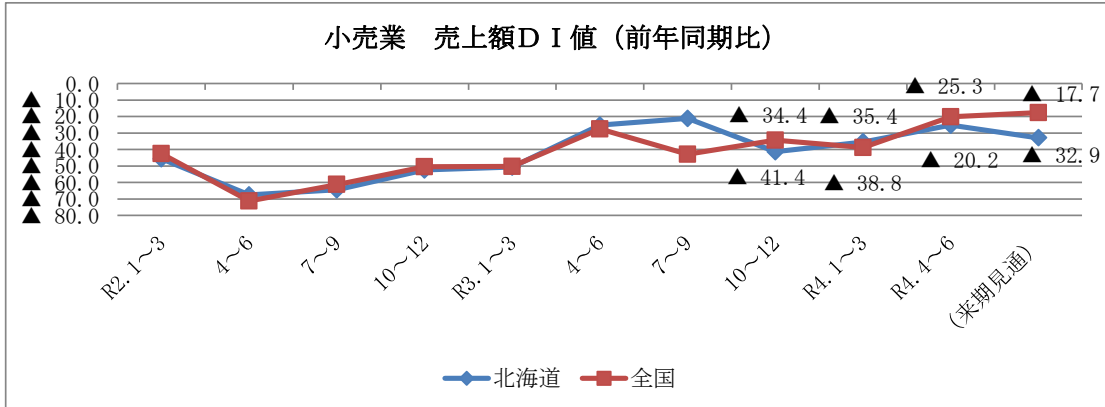
資金繰り



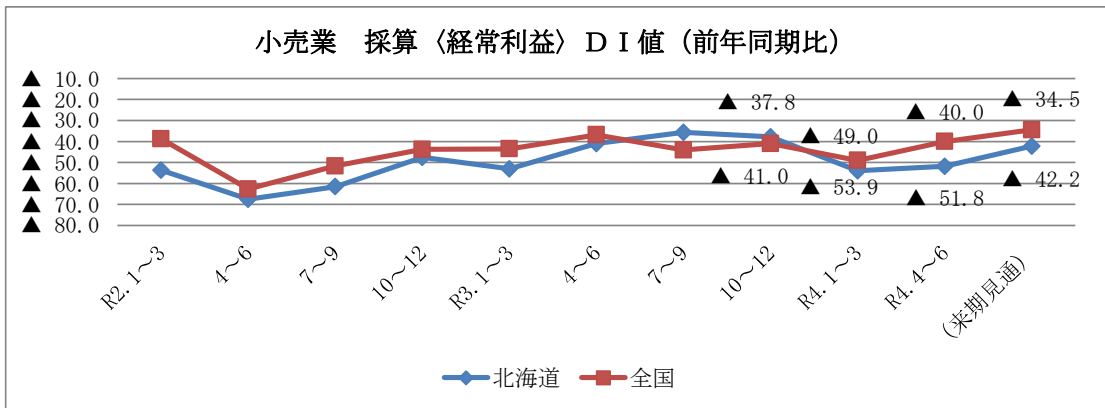
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…不変、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

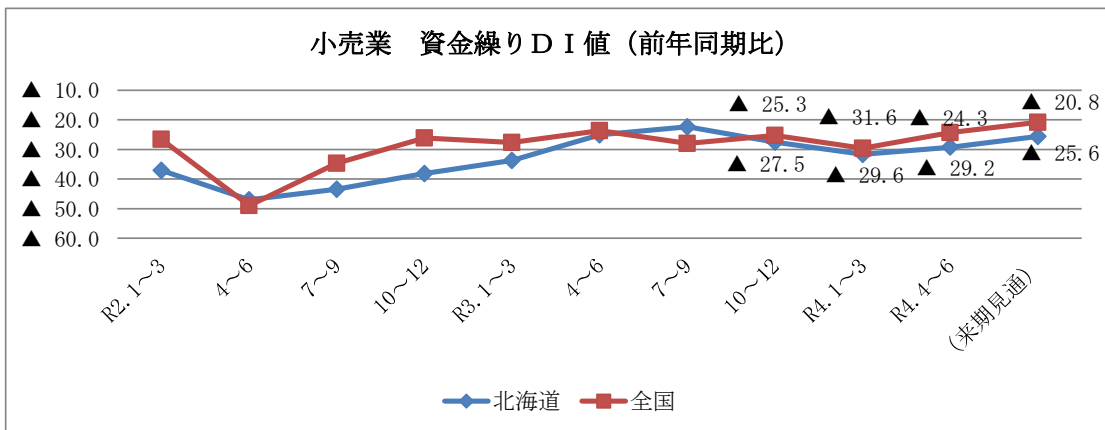
売上額



採算



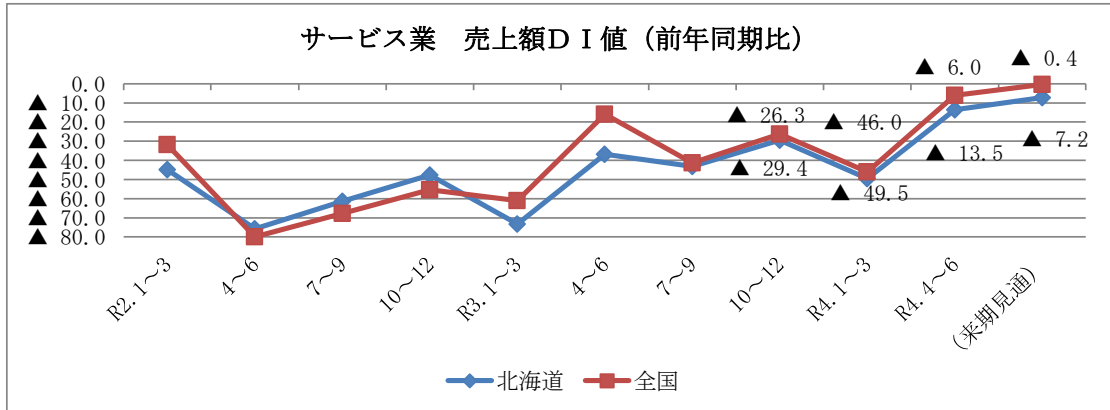
資金繰り



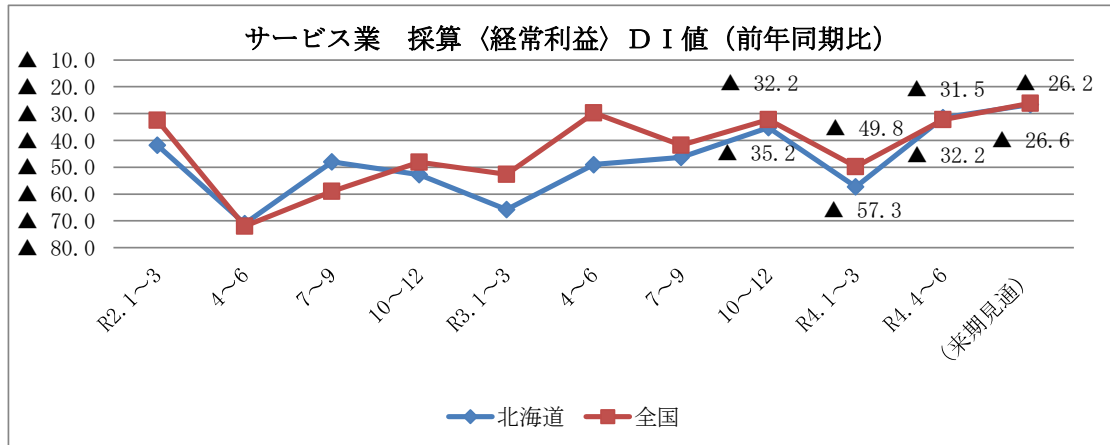
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

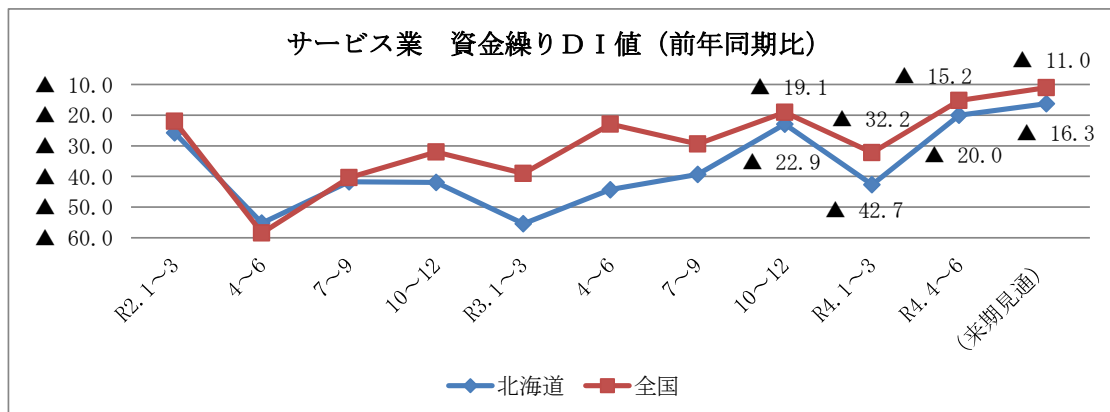
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員を一人増やした結果、仕事の効率が上がりはじめ、少しずつ好転してきている。しかし、在庫として保管するという目標には達していないので、いつでも提供できる原皮の在庫を作るのが今後の目標となっています。 ● 今春からの急激な値上げの中ですが、売上はあまり落ちる気配は見られませんでした。しかし、世の中に値上げ疲れが出てくるとわかりませんし気は抜けません。 ● 鋼材高騰で価格は1.5倍、納期は2倍で見積金額が高くなり、お客様には金額面でも納期の面でも大変ご迷惑をお掛けしております。 ● オホーツク管内の素焼土管暗渠の実施予想面積は今年度よりも来年度の方が若干多い見込みだが、2~3年後のコロナ禍後、ウクライナ侵攻以後の影響がどのように表れるか、SDGsも考える要注意である。 ● 仕入れ価格の上昇にともなう販売価格の上昇により、昨年と比べ買い控えているように感じる。低価格の商品でも見積もりをする件数が増加。価格に対してシビアになってきていると思う。 ● 所得が伸びない中安価なものを求める消費者が一段と多く、こだわりの商品の売れ行きが伸びず、今後さらに低下することが予想される。 ● 食品等の値上げにより購買意欲が下がった。コロナウイルス後の行動力の低下。売れ筋の悪化と対応の遅れ。コロナによる経営体力の低下。生産設備の更新不足。原材料価格の上昇による利益の低下。 ● 原材料以外にも値上がりしている物も多く、経費額が増加しているが、年度契約の受注は売価を変えられず利益率も低下。大口売上の顧客が国の政策により全道規模で合併し、地方中小企業への発注が皆無となった。 ● 今年に入り続いていた原料肉の高騰がさらにひどくなっています。箱、袋、シール等も軒並み高騰しており、価格転嫁できていますが、今後さらに値上げとなった場合、消費者の焼き肉離れも考えられるほどひどい状況です。 ● コロナ感染症の感染者増加にともない来店客の減少と行事やイベントの中止による注文の減少による売上低下。原料価格の高騰による経費の増加。 ● 原材料、包材の値上げ、灯油 ● 石油製品長期高騰化の恐れもあり、予断を許さない状況だが、主体を店頭販売に変更して、昨年との比較では約2倍に伸びてきた。更にヘルシーでグルメな商品を提供して、拡販に努めていく。 ● 現在、当社の取り扱う魚種が順調に水揚げされているが、今後の羅臼港の水揚げ魚種が心配される。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料価格の向上及び調達機関の長期化に伴い、採算の悪化が予想されます。また、観光・飲食分野の新築・改修工事が少ないことから、予定事業案件の一部未消化が起きており、コロナの影響は色濃く続いております。 ● 燃料等の上昇により収支が圧迫されている。 ● コロナ前より約20%工事価格の上昇により、銀行借入可能者の減少によって、住宅建築のお客様がかなり少なくなっている！ ● 新型ソフトや加工機械の投資により従業員不足を補っている。工事引き合いは年々増加しているが、受注工事を見分けて利益確保に努力している。 ● 前年度は民間需要の好調と若干の公共工事の減少であったが、今年度は公共工事は微増だが原材料高騰で材料単価が前年の2倍近く高騰している物もあり建設費圧迫と人材需要の高まりはあるが変わらぬ人材不足が難題です。 ● コロナ禍からの世界経済回復、そして、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、原材料価格の大幅な上昇が続き、材料不足もなかなか解消せず、自社の企業努力ではどうしようもない。停滞感を感じています。
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナによる規制の緩和、外国人の受け入れの増加案、経済状況を従来のように戻す動きが見え始めた。世界情勢による原材料等の値上がりが気がかり。 ● 新しいお客様がある一方で昔からのお客様が減っている。 ● 原油代の影響により灯油、ガスの仕入単価が増えている。 ● コロナの影響が、ますますひどくなっています。これだけ人の出入りがないと、不安ばかりで、セールなどやれずにいます。多少の仕入れも、在庫を増やすことに・・・。いったいいつまでこんな状態が続くのでしょうか？ ● コロナと物価高で売上が減少しています。 ● 当店は高齢者相手の店ですので、お客様の送り迎え等していますが客数は減る一方です。お店がなくなったら困るとの声も聴きますが、ある程度の売り上げが無いと経営が厳しくなります。諸経費がかかり過ぎますので。 ● 従業員の不足、高齢化で作業効率の低下。 ● 顧客の高齢化が進む中、客数の減少と流出が目立つ。コロナの影響で納品のキャンセル、仕入れと資材の価格上昇が重なり、厳しい状況が続く。今後は消費者の買い控えの懸念からも好転の兆しは見えない。

<p style="text-align: center;">小売業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まん延防止等重点措置が解除されて、幾分戻りかけているとはいえ、6月から各メーカーの値上げラッシュで頭が痛いです。10月からの本格的値上げまでに、何か対策を講じなくてはならない状況です。 ●新型コロナの影響で年配者の外出が少なくなったような感じがする。 ●コロナ前のような、物流に戻る傾向がみられないことと住民の減少により、消費者ニーズ(年齢層)が、明らかに変わってきているので早めの対応でロスを減らしていきたいと思っております。 ●コロナのうえ人口が減少しているため不安を感じている。そしてガソリンが高騰のため、遠方からのお客様が減少しているように思われる。 ●コロナ禍が多少落ち着きを見せ、観光業へ消費が流れたように思います。 ●歯止めの利かない仕入単価の上昇や光熱費等の高騰がより一層、きびしいものとなり、経営がむずかしくなっている。 ●コロナ明けの売上増を見込んでいたが大型連休中も出足が悪く大きなグロス増には結び付かなかった。観光メインの商品群であるため、結果がすぐに出ない現状ではあるがこの2年に比べると回復する下地はある。
<p style="text-align: center;">サービス業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●光熱費等の上昇で売上があっても消えていく。 ●4月、5月と特に客数、客単価の落ち込みが目立つ。6月以降も消費マインドの停滞が続くそう。生活必需品の値上げ、年金の減少、暗い世相など、コロナ禍に引き続き、影響が続くそう。 ●少しの値上げでは、今の仕入値の上昇やガス、電気、ガソリンの値上げでは客は増えても利益がなく老朽化のせいで経費が増えてしまっている。 ●売り上げが悪い日と良い日があって、トータルするとそんなに悪くなく例年と同じ感じになっています。 ●国内外の移動規制緩和による集客の期待は大きいですが、仕入等、経費の増加はかなりのダメージ。ガソリンスタンドのように、簡単に販売価格を上げるとか、難しい。 ●コロナ禍終息にともなう旅行消費の拡大により、入込客数は増えているが、道内客が多く完全回復後も継続して需要があるか不明。円安による国内旅行やインバウンドの増加に期待する。 ●客足は戻りつつあるけど、利用単価が減ったのと、コロナの影響でカラーやパーマの必要性が減った。 ●新型コロナウイルスの影響で、客回復厳しい。いまだに200人前後のウイルスで、少人数来店が多く、苦戦。インスタでの販促強化予定。 ●新型コロナウイルスの市内の人数の状況で客の変動がみられる。新規客取り込み苦戦。 ●東京都公社の補助金をいただけるようになったことにより電子部品をインターネットで調達しているが、海外製のものを購入している関係で近年の円安の影響で仕入金額が1割~2割高くなっている。 ●本来であれば来期は好転の見込みあり。しかしながら今期従業員が減ってしまったので、従業員の補充ができないと仕事をクリアすることができず、今後の営業に悪影響を及ぼすこと必至。事業として死活問題である。 ●コロナがウィズコロナに変化していくことで人の流れも変わる。コロナ前の営業スタイルに戻るには時間がかかると思うがウィズコロナに併せた営業スタイルを確立する必要があると思う。 ●材料仕入単価上昇しつつあるのに比べて料金値上げが難しい状況と思っております。 ●人の動きは多少増えてきているように感じるが、下げ止まりのうえに燃料費高騰が重なり、先に進みたくても手を出せない恐さがある。 ●コロナ後の客足の状況がどのようになるか不安である。 ●前年同期に比べて店舗型飲食店の売上が減少する一方、新たに導入したキッチンカーによるテイクアウト販売が好調なため、大きな変化はなし。コロナで中止されていた大規模イベントの一部が再開されてきているため、来期以降の見通しを好転とした。 ●ガソリンの価格の高騰が続くと業績の悪化に直結してくるので不安。高騰が収まるまではなく少しでも値下げになることを期待しています。 ●原材料の高騰で原価率が大きく上がったものもあり、安易な値上げもできないため、値上げ幅、タイミングに苦慮している。 ●新型コロナウイルスの影響(利用者の減少)や資材費、燃料費の高騰により、利益が見込めず厳しい現状が続いている。 ●原油価格高騰等による経費の増加、商品の値上がりによる仕入単価上昇で利益が減少している。 ●悪いながらも安定している。コロナが落ち着き来店間隔が上昇すれば良いのだけれど。同業者の高齢化により新しいお客さんが来店しているのでプラスマイナス0で客数はさほど落ち込んではいないと思う。 ●町内同業種での新型コロナ感染発生を機に一気に客足が遠のき目も当てられないといった塩梅です。 ●コロナ禍の中での警戒で先延ばしになる事、時間をかけずに簡単に部分的な施術が多く、単価が下がっているのでは？ ●宴会など、大人数が集まれるようにならないと売り上げの上昇につながらない。状況は決して良くないが、もう少しの辛抱ととらえて頑張るしかない。